



# 青木村防災講演会

## (仮) 東日本大震災にみる命の分岐点 ～求められる命を守る主体的姿勢～

日時：平成23年11月3日（祝） 19:00～21:00（開場18:30）

会場：青木村文化会館 2階講堂

定員：150名（先着順） **入場無料、申込不要**

主催：青木村・長野県・群馬大学大学院広域首都圏防災研究センター

【お問い合わせ】青木村	総務課	TEL 0268-49-0111
	建設産業課	TEL 0268-49-0111
長野県	砂防課	TEL 026-235-7316

平成22年7月に青木村が豪雨災害に見舞われたのは記憶に新しいところです。村内を流れる浦野川が氾濫危険水位を超え、村内でも避難勧告が発令され、床上・床下浸水の被害が出たほか、村内各地で土砂崩れや倒木が発生し、道路が通行不能になるといった被害が発生しました。このような災害が今度いつまた青木村を襲ってもおかしくありません。

このような災害が再び青木村を襲ったとしても、村民のみなさんの中から犠牲者を一人も出さないためには、村民のみなさんが自らの命を守ることに對し主体的な姿勢を身につけ、適切な行動をとることが必要です。

そこで、青木村では、群馬大学大学院広域首都圏防災研究センターの片田敏孝教授をお招きし、自然災害から命を守り抜くために私たちはどうすればよいのか、東日本大震災から学ぶことができる知見を基に考えていきたいと思ひます。多くの村民のみなさんのご参加をお待ち申し上げます。

### 講師：片田敏孝 氏

群馬大学大学院 教授  
広域首都圏防災研究センター長

専門は災害社会工学。

災害への危機管理対応、災害情報伝達、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、住民とのワークショップを通じた地域防災活動を全国各地で展開している。

また、内閣府「集中豪雨時等における情報伝達及び高齢者等の避難支援に関する検討会」委員、国土交通省・河川局「社会資本整備審議会 豪雨災害対策総合政策委員会」委員など、国・外郭団体・地方自治体の多数の委員会、審議会に携わり、研究成果を紹介しながら防災行政の推進に貢献している。

